

# 自立活動学習指導案

1 日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 9:30~10:15

2 場 所 〇〇学級教室

3 学 年 知的障害特別支援学級  
第2学年 1名、第4学年 3名 計4名

4 単元名 「デザイナーになろう!~喜んでもらえるハロウィン衣装を作ろう~」

## 5 題材設定の理由

○ 本学級には第2学年が1名、第4学年が3名の計4名が在籍している。

第2学年A児は、視覚優位で、手順書やカード、イラストなどでの理解が早く、文字を自分で読み上げて確認をすることができる。一方で、語彙が少なく、会話でのコミュニケーションに課題が多い。日常の中で定型化された言葉であれば、活用できる言葉も増えているが、教師から問われている言葉が分からないときにそのままを聞き返したり、返事をしなかったりすることが多い。気持ちを考えることや、意見を発表することが難しく、意欲的に挑戦しても的外れになってしまうことが多い。会話の言葉を増やし、繰り返し練習していくことが必要である。

第4学年B児は、リーダーシップをとって発表や話し合いに対して意欲的に参加することができる。いろいろな考えをもち、何度も意見を発表している。しかし、友達が意見を否定したり、自身が間違っていると思ったりしたことには、一方的に強い口調で否定してしまうことがあるため、事前にルールを決めたり、口頭で優しい言葉遣いを促している。活動の前に、自分の行動に対して約束を決めると、意識して行動することができる。細かい作業が苦手で、意欲的に取り組むができないときにイライラしてしまうため、落ち着いて手伝いを頼めるようにトレーニングをしている。

第4学年C児は、学級のムードメーカーでグループ活動でも楽しい雰囲気を作ることに長けている。活動に対しても最後まで落ち着いて根気よく取り組むことができる。細かい作業には不器用さも相まって粗さが目立つため、丁寧な作業をするよう促している。読み・書きの課題が大きく、手順書に加え、声で読み上げると理解がしやすい。語彙が少なく、言いたいことがあってもうまく言葉が出てこないためにあきらめてしまうことが多い。率直な言い方をすることで誤解が生まれ喧嘩に発展することがある。そのため語彙を増やし、言葉カードで返し方や言葉の表現の仕方の種類を増やし実践していく。

第4学年D児は、読み書きが得意で、いろいろな言葉を知っている。ルールのある遊びが苦手であるが、ルールを明確にして、手順書やカードで示すと理解が早く、意識して取り組むことができる。しかし、失敗することに対して極端に嫌悪する傾向があり、合っているか分からないことや、正解のない自身の意見などは自信が持てないと「分からない」の言葉で終わらせてしまう。たくさんの言葉を知っているが活用できていないことが多い。相手の順番や意見を優先させる傾向にあり、自身の意見や思いを伝えられていな

い場面が多くみられる。知っている言葉をどのように活用すればよいかを考えるとともに、意見を述べることに自信をつけていきたい。

- 本単元は、特別支援学校学習指導要領自立活動編（平成30年3月）の内容「6 コミュニケーション」を指導内容とする。

児童の特性から、使える言葉を増やし、友達や先生と言葉で関わることに自信を付ける必要がある。この単元では、インタビューを行い、先生が喜ぶハロウィンの衣装のデザインを考え、ビニール袋で作った衣装に飾り付けをする。先生の衣装を友達と協力して作る中で、楽しんで言葉のやり取りを実践できると考え、ねらいとした。会話のパターンや、伝え方を実践して自信をつけることで、児童の会話の幅を広げ、自身の思いを他者に伝えられることに喜びを感じられるようにしたい。また、日常生活における場面でも、言葉を活用することで教師や友達と関わりコミュニケーション能力が育成されることが期待できる。

- 指導にあたっては、児童が適切に答えることができるように、お手本となる言葉カードを提示し、やり取りをする場面を設定する。

まず、言葉カードの内容を示し、問いかけの仕方や答え方の言葉を押さえておく。一人ずつ実践させて、自信をつける。児童同士の実践では、難しい児童には、カードを指さしてから読むように促し、言葉だけで伝えられるよう繰り返し取り組んでいく。

次に、相手が喜んでもらえる衣装を考えることとおさえ、インタビューを行い、デザインを考えさせる。全体で共有しながら考えられるように、基本となる飾りはマグネットで動かせるようにしておく。飾りを置くまえに友達に聞くことと返事をもらってから貼ることを定着させる。児童が好きなデザインのことを混ぜておくことで、相手が喜ぶものかどうかを考えるよう促す。違う意見の時の伝え方をおさえしておく。

最後に、考えたデザインをもとに衣装づくりを行っていき、基本となる服の形を準備しておき、その上に飾りを配置したり絵を描いたりして作っていく。ペアで行う時も、友達に意見を聞いて返事をもらってから作ることができるよう、見える位置に言葉カードを配置しておく。道具については、はさみは一人一つ用意するが、ほかのものはあえて少なくすることで道具の貸し借りなど、言葉を使う機会を増やしていく。中央に配置し、それに付随する言葉を掲示して、困ったときに活用できるようにしておく。

日常のあらゆる学習で同じ場面が予想されるため、実践を行うことで成功体験を積み重ね、言葉でのコミュニケーションに自信をもてるようにしたい。

## 6 単元の目標

### ○ 全体の目標

- ・ 自分の意見や要求を言葉で伝えることができる。…6- (1)
- ・ 相手の意見を受け止め、自分の考えを伝えることができる。…6- (2)
- ・ 相手に合わせた言葉遣いをすることができる。…6- (5)

### <選択した項目>

- 6 コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること
- (2) 言語の受容と表出に関すること。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

○ 児童の実態と個別目標

	題材における実態	題材における個人目標
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な言葉のやり取りができる。</li> <li>・定型化された文であれば活用できるが、自分の考えを伝えることは難しい。</li> <li>・ルールの理解が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手本の言葉を見て、正しく伝えることができる。</li> <li>・丁寧な言葉でインタビューをする。</li> <li>・ルールを守って活動ができる。</li> <li>・相手の言葉を聞いて行動することができる。</li> </ul>
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を伝えることができる。</li> <li>・ルールを守って活動することができる。</li> <li>・言い方が強く喧嘩になることが多い。</li> <li>・細かい作業が難しく、癩癩を起こしてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見を受け止めることができる。</li> <li>・できないときに落ち着いて手伝いを頼むことができる。</li> <li>・丁寧な言葉でインタビューをする。</li> <li>・優しい言い方ができる。</li> </ul>
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言葉で意見を伝えることが難しい。</li> <li>・細かい作業が苦手で、粗さが目立つが最後まで自分で取り組むことができる。</li> <li>・読み書きが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手本の言葉を活用し、相談をすることができる。</li> <li>・丁寧な言葉でインタビューをする。</li> <li>・自分の聞きたいことを言葉で表すことができる。</li> </ul>
D児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗することが苦手で、自分の意見を伝えようとしにくい。</li> <li>・落ち着かないと離席が多い。</li> <li>・順番や相手の意見を優先してしまう。</li> <li>・手先が器用で、細かい作業もできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手本の言葉を活用して、自分の意見を伝えることができる。</li> <li>・ルールを守って行動することができる。</li> <li>・丁寧な言葉でインタビューをする。</li> </ul>

7 学習計画 (全7時間)

	時間	学習内容
第一次	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見直しをもつ。</li> <li>・ハロウィンについて知る。</li> <li>・どのような衣装が喜んでもらえるか、相談しながら考える。</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>
第二次	2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの練習をする。</li> <li>・実際にインタビューをすることを想定して、メモを取りながら担任にインタビューをする。</li> <li>・インタビューをした内容をもとに、衣装のデザインを相談しながら考える。</li> <li>・デザインを見ながら衣装を作る。</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>

第三次	3時間 (本時2/3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで分かれて、インタビューの担当決めをして、練習をする。Aチーム(〇〇先生) Bチーム(〇〇先生)</li> <li>・担当の先生のところへ行き、インタビューをする。</li> <li>・インタビューの内容をもとに衣装のデザインを考える。</li> <li>・デザインを見ながら衣装を作る。</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>
第四次	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作った衣装を発表する。</li> <li>・全体の振り返りをする。</li> </ul>

## 8 本時の目標

### ○ 全体の目標

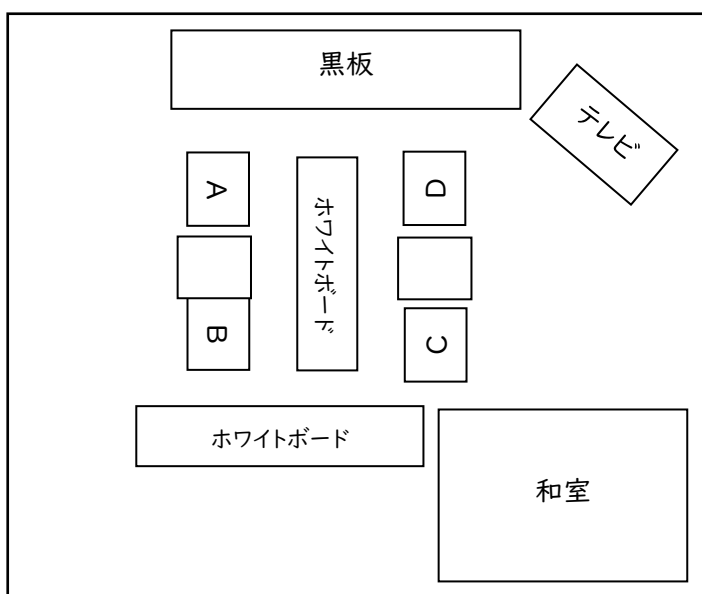
- ・自分の意見や要求を言葉で伝えることができる。…6-(1)
- ・相手の意見を受け止め、自分の考えを伝えることができる。…6-(2)

### ○ 個別の目標

A児	お手本の言葉を使って、正しく言葉をかえすことができる。
B児	相手の意見を受け止めながら、話し合えることができる。
C児	お手本の言葉を使って、話し合えることができる。
D児	お手本の言葉を使って、自分の意見を伝えることができる。

## 9 学習過程 別紙

### 10 教室内の配置図



11 資料

インタビュー用メモ

インタビューをしよう 名前( )

( )①ドアを コンコン

( )②しつれいします。

( )③なかよし1組の ( )です。( )です。  
インタビューしてもよいですか。

( )④おしえてください。リボンはどれがよいですか。

( )⑤好きな色はなんですか。

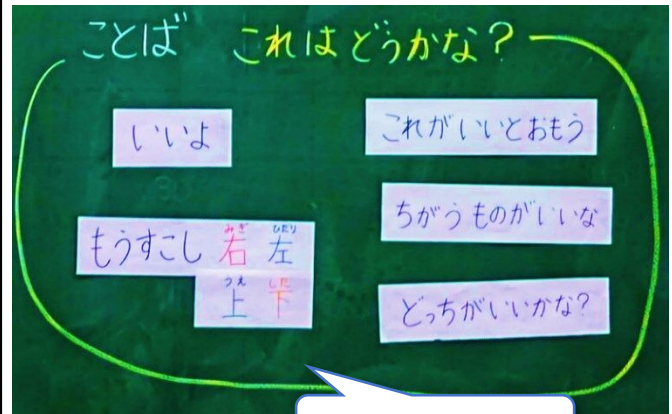
( )⑥にがてな絵はありますか。

( )⑦インタビューはこれでおわりです。  
ありがとうございました。

( )⑧しつれいします。

へんじ  
○→わかりました。  
聞こえなかった わからないとき  
→もういちどおしえてください。

デザインに使う飾り  
マグネットで移動可



お手本の言葉

ふりかえりカード 名前( )

( )の がんばっていたこと・よかったところを伝えよう。

おもったこと・たのしかったこと

自由記述式  
振り返りカード

ふりかえりカード 名前( )

○は いくつでもよいです。

( )の がんばっていたこと・よかったところは なんですか。

○をしましょう。

なかよくしよう すわってしよう  
かおを見てきこう たすけあおう  
ことばのつかいかた

~をがんばっていました。  
~がよかったです。

おもったこと・たのしかったこと

選択式  
振り返りカード